株式会社アドバネクス

2012年3月期第1四半期
決算補足説明資料

2011年8月9日

本資料は2011年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

ADVANEX

主な内容

1. 第1四半期連結業績概要
2. 2012年3月期連結業績予想
3. ストロベリーの完全子会社化について

1-1. 第1四半期連結業績概要

（単位：百万円、%）

	2011年3月期 1Q	2012年3月期 1Q	対前期比増減	
			額	率
売上高	7,974	6,331	△1,643	△20.6%
営業利益	216	115	△100	△46.4%
利益率	2.7%	1.8%	△0.9%	―
経常利益	141	△1	△143	―
利益率	1.8%	△0%	△1.8%	―
四半期純利益	164	△145	△309	―
利益率	2.1%	△2.3%	△4.4%	―

1-2. 第1四半期連結業績のポイント

◆対前年同期比で減収・減益

売上高は対前年同期比 20.6%減少、営業利益は、主に海外において売上減少や人件費等の増加に伴い利益が減少したため、対前年同期比 46.4%の減少。経常損益は△1百万円、四半期純損益は△ 145百万円となり、前年同期から減少。

◆売上高減少は震災の影響とモーター子会社の非連結化に伴うもの

震災の影響により、精密ばね事業とプラスチック事業において、OA機器向け・自動車向けが国内及び海外で売上減少。また、モーター子会社が連結子会社から持分法適用会社に移行したため、売上高が前年同期に比べ大幅に減少。

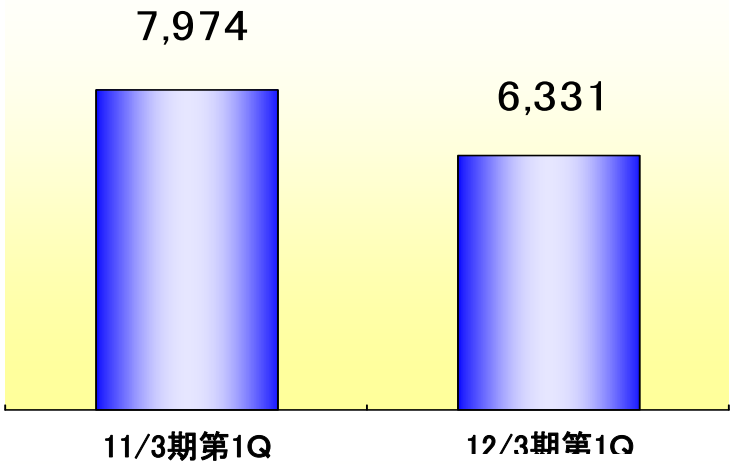
◆ヒンジ事業は主要事業の縮小を発表

ヒンジ子会社が4月に携帯電話向け事業の大規模縮小を発表したことに伴い、売上高が減少。不採算製品の一部生産継続により、損失が拡大。

1-3. 第1四半期業績推移(連結)

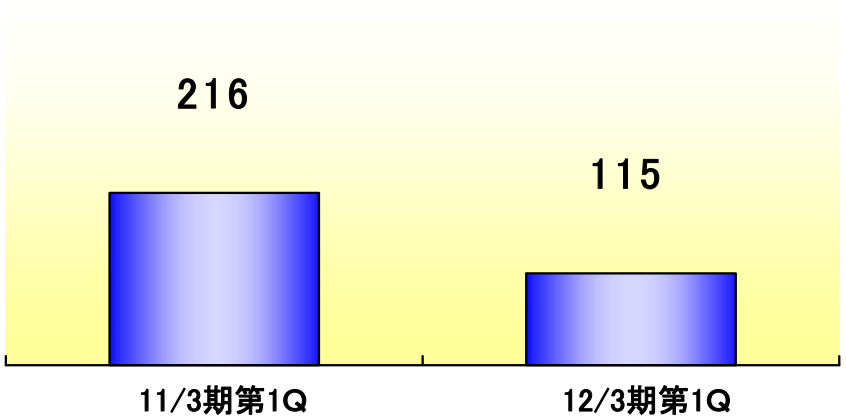
売上高

(百万円)



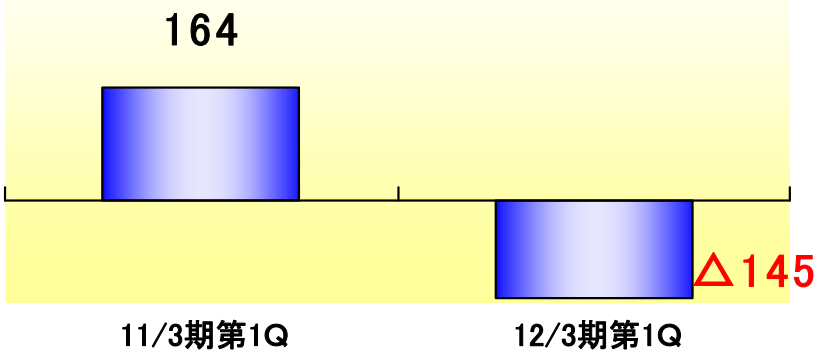
営業利益

(百万円)

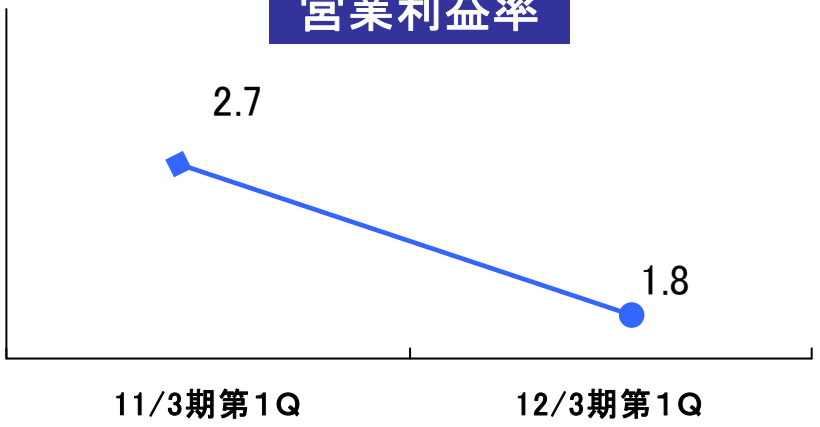


四半期純利益

(百万円)



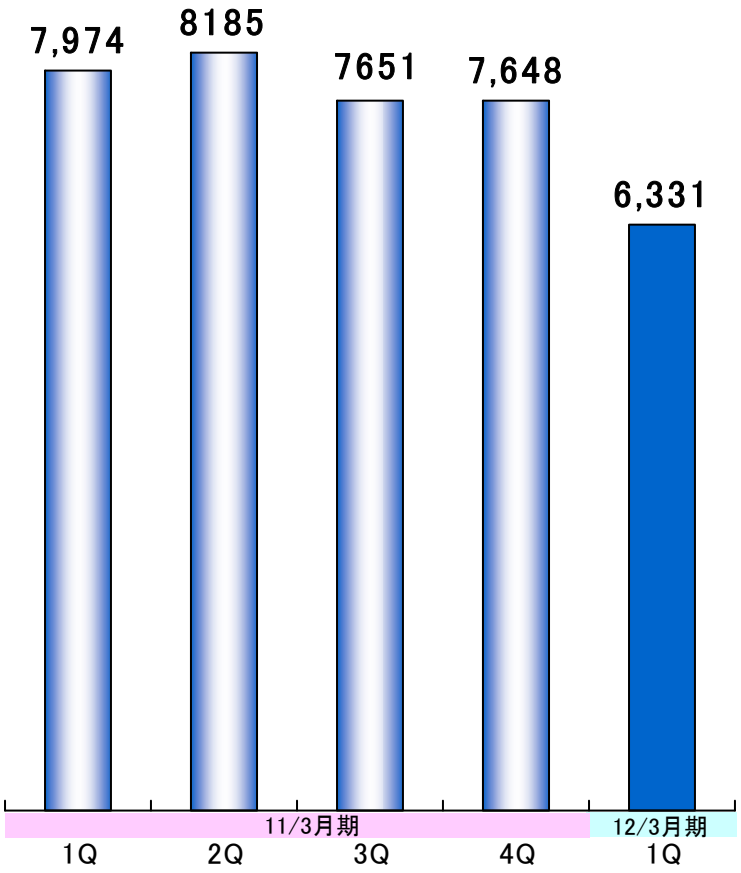
営業利益率



1-4. 四半期別業績推移(連結)

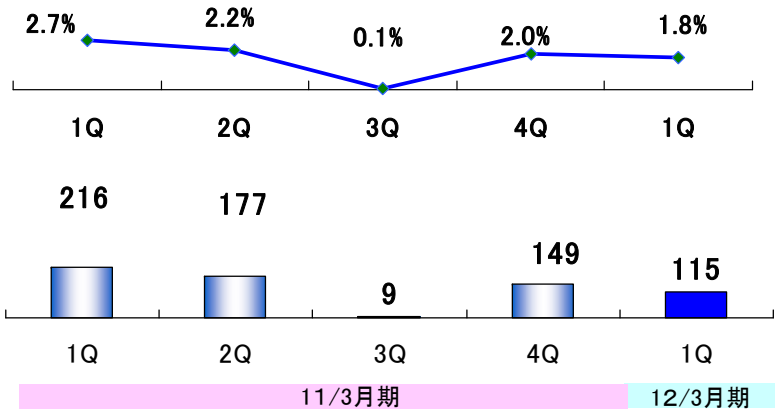
売上高

(百万円)



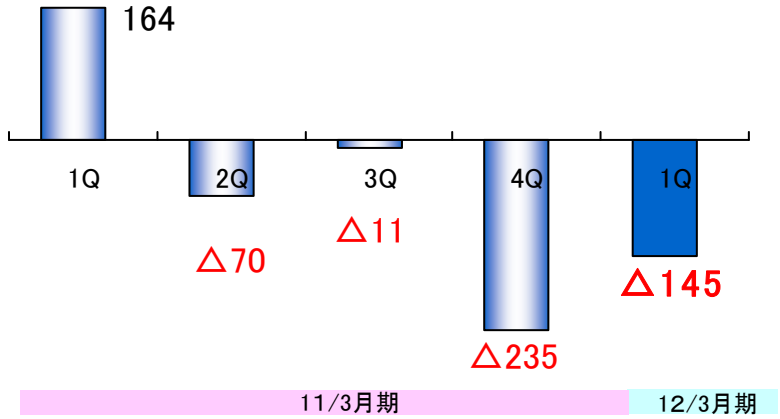
営業利益・利益率

(百万円)



当期純利益

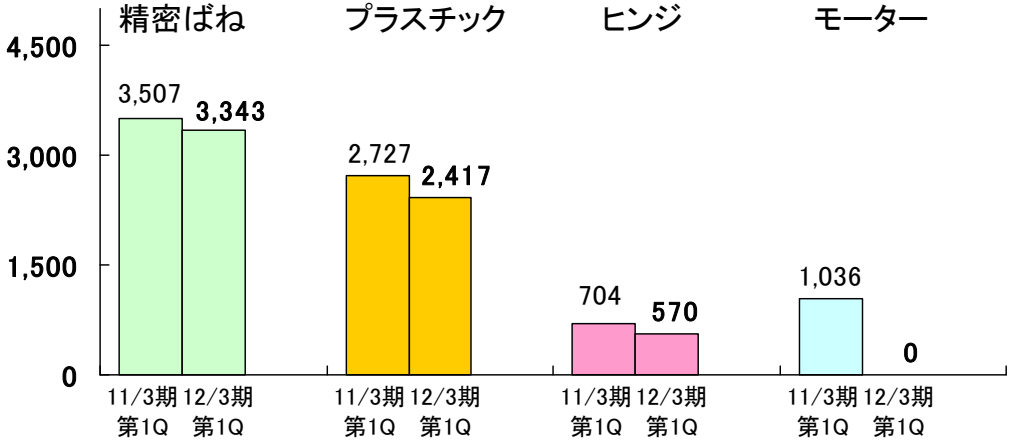
(百万円)



1-5. 事業別売上高・営業利益

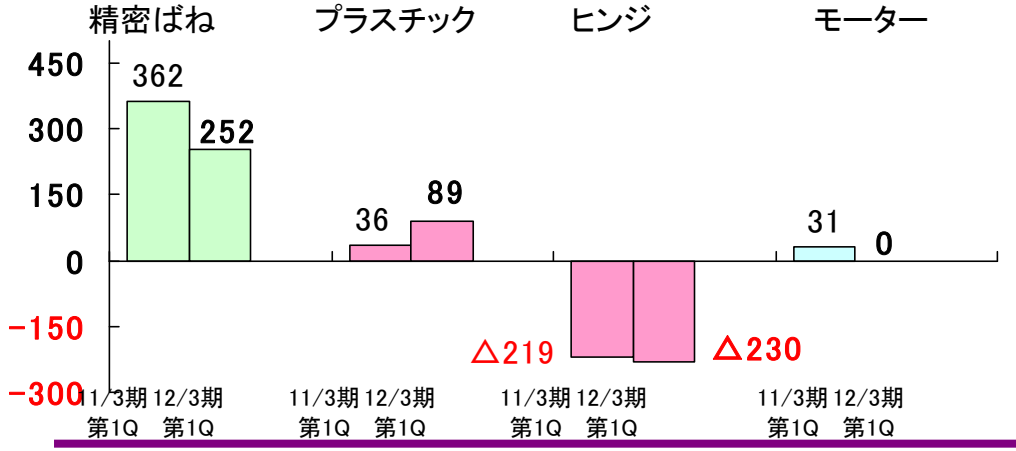
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



＜前第1四半期からの変動要因＞

精密ばね

・震災の影響で、OA機器・自動車向けの売上が減少。
・国内は、収益性の高い商品の増加により、収益が改善するも、海外での売上減少・人件費増加が響き、全体として、収益減少。
＜売上：△4.7% 、セグメント利益：110百万円減少＞

プラスチック

・震災の影響で、OA機器・自動車向けの売上が減少
・国内における、収益性の高い製品へのシフト、中国での製品価格値上げや原価低減の結果、収益は改善。
＜売上：△11.4%、セグメント利益：52百万円増加＞

ヒンジ

・今年4月に決定した携帯電話向け事業の縮小に伴い、売上高が減少。
・不採算製品の生産の一部継続により、損失拡大。
＜売上：△19.0%、セグメント損失：11百万円増加＞

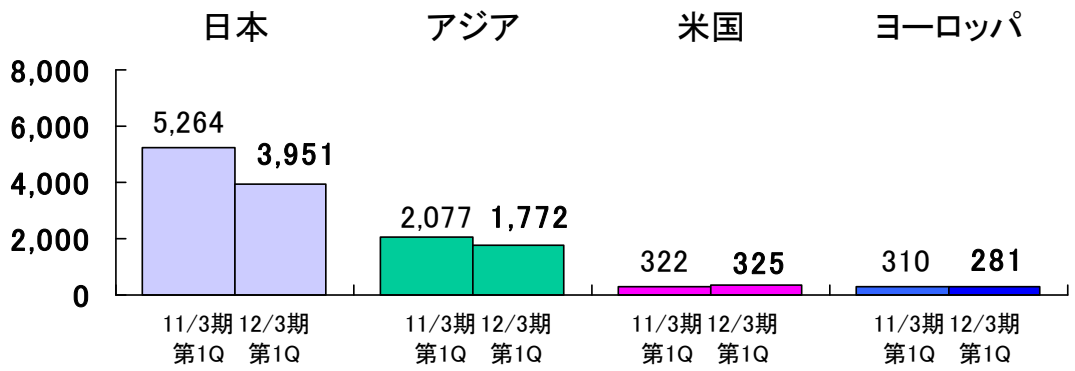
モーター （今期より除外）

2011年4月、モーター事業を担当する㈱フジマイクロが連結子会社から持分法適用会社に移行したため、モーターセグメントは今期より除外。

1-6. 所在地別売上高・営業利益

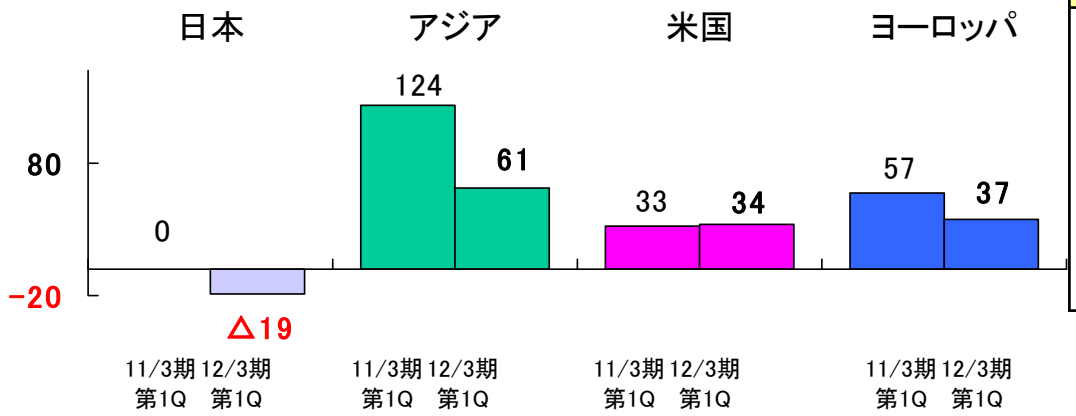
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



＜前第1Qからの変動要因＞

日本

•震災の影響で、精密ばね事業、プラスチック事業の売上が減少。ヒンジ事業の縮小及びモーター子会社の非連結化による売上減少。

•精密ばね事業、プラスチック事業は収益性の高い商品構成比が増加し、収益改善に貢献するも、ヒンジ事業で損失が増加。

＜売上：△24.9%、営業損益：△19百万円＞

海外

欧州はタングレスコイルスレッドの売上減少により、減収・減益。アジアはプラスチック事業が収益改善するも、震災の影響等により、精密ばね事業が中国・タイなどで減収・減益。

＜売上：△12.2%、営業利益：△82百万円＞

1-7. 連結市場別売上高

（百万円）	12年3月期		11年3月期		増減	
	1Q	構成比	1Q	構成比	額	増減率
OA機器	1,951	30.8%	2,306	28.9%	△355	△15.4%
自動車機器	1,354	21.4%	1,540	19.3%	△186	△12.1%
PC・周辺機器	548	8.7%	323	4.0%	225	69.8%
住設機器	495	7.8%	974	12.2%	△479	△49.2%
AV家電	409	6.5%	576	7.2%	△167	△29.0%
携帯情報端末	382	6.0%	613	7.7%	△231	△37.7%
精密機器	311	4.9%	372	4.7%	△61	△16.4%
医療機器	194	3.1%	217	2.7%	△23	△10.4%
その他	687	10.9%	1,054	13.2%	△368	△34.9%
合計	6,331	100%	7,974	100%	△1,643	△20.6%

2. 2012年3月期連結業績予想

（百万円）	2011年3月期（実績）		2012年3月期（予想）		増減（額）	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
売上高	16,159	31,459	12,500	26,000	△3,659	△5,459
営業利益	393	552	150	850	△243	298
営業利益率	2.4%	1.8%	1.2%	3.2%	△1.2%	1.4%
経常利益	211	326	50	590	△161	264
当期純利益	93	△152	△150	330	△243	482

注）業績予想につきましては2Q累計、通期とも今回修正を行っておりません。

3. ストロベリーの完全子会社化について

◆株式交換契約を8月9日に締結

ヒンジ事業を行う連結子会社ストロベリーコーポレーションを株式交換により完全子会社化。効力発生日は、本年11月1日（予定）。交換比率はストロベリーコーポレーションの株式1に対して、アドバネクス株92株を割当て。なお、同社は、JASDAQ市場において10月27日付けで上場廃止になる予定。

◆完全子会社化の目的

ストロベリーコーポレーションは債務超過状態に陥り、4月に携帯電話向けヒンジ事業の大規模縮小を発表。事業撤退に予想以上に時間を要しているため、今期業績がさらに悪化する見込み。これ以上の損失拡大を防止するため、アドバネクスの完全子会社にすることによって、重複機能統合による経費削減、資金支援体制の構築を図る。将来的には、自動車・住設・医療向けヒンジを市場開拓し、アドバネクスの精密ばね事業との事業シナジーを拡大する計画。

（お問い合わせ先）

株式会社アドバネクス
広報IR部

TEL：03 － 3822 － 5865　　FAX：03 － 3822 － 5873

URL：http：//www.advanex.co.jp